

幼児教育長期派遣通信 3学期号

発行 令和4年3月22日

竹原市立中通小学校 板垣 祐美（派遣園：広島大学附属幼稚園）

本年度、「幼児教育長期派遣研修」として、広島大学附属幼稚園で研修をしました。子供たちの主体的に遊び込む姿、周囲の人・もの・ことと関わりながら成長していく姿に、この育ちや学びを小学校につなぐために、小学校教員として何ができるか、何がしたいかを日々考えさせられました。

1 3学期の研修内容

(1) 園内研修

- ・園児観察
- ・園内環境の整備と安全点検
- ・研究日に参加（援助、ルーブリック評価等）
- ・行事に参加（誕生会、グローバルデイ（英語）、森の日、卒園製作、ぱくぱく弁当、節分会、陣が平山越え探検、ひな祭り、お別れ会、卒園式、終わりの集い等）
- ・年長児に向けて、学校紹介
- ・研修（研修発表会④）

(2) 園外研修

- ・所属校に入学してくる園児の実態把握

2 研修を通して

本研修での学びを自校のスタートカリキュラムの改善につなげた具体について説明します

スタートカリキュラム改善の3つのポイント

安心の土壌作り

学びに「ワクワク」を

弾力的・効果的に

その1 「安心の土壌作り」と、「ワクワク」を育む取組

○小学校入学に当たって、広島大学附属幼稚園の保護者向けに質問会を行いました。（12月）保護者の方からいただいた質問を集約すると、「学習」「給食」「生活・友達関係」の主な3つに集約されました。一部、紹介します。

授業中、座っているか心配です。

授業中、トイレに行きたくなくても大丈夫？

入学前にどの程度読み書きができたらいいですか？

小食です。量の調節はしてもらえますか？

アレルギー以外で、どうしても苦手な食べ物があって心配です。

子供が給食自体を不安がっています。どのように時間を過ごしていますか？

学習

給食

生活
友達関係

同じ園から行く友達が1人もいないので、不安のようです。

環境や生活リズムが違うので心配です。登校班で歩いて行って、自分で帰って来られるのか……

行事前に体調を崩しやすい場合、担任の先生にいつ伝えるといいですか？

子供たち（保護者を含む）は、小学校生活に期待も抱きつつ、不安に思っていることも人それぞれあります。小学校では、園所での経験や学びを踏まえた上で、児童が安心して主体的に自己を発揮できる **安心の土壌** を作る必要があります。

園所では



確保したい時間

- ・自分のこと（準備等）を「自分でやり切る時間」
- ・その日の学習や活動に向けて、気持ちを整える「準備の時間」

入学後1か月程度、登校後から1時間目に「なかよしタイム」を位置付ける

保護者に向けた取組として

入学時に「スタートカリキュラム通信」を発行し、児童に「安心」「ワクワク」を育むための取組を紹介します。

保護者も安心



登園後、ゆとりある時間の中で、自分で身辺整理をし、遊びを選択している

	4月18日(月)	4月19日(火)	4月20日(水)
行事等			
朝	なかよしタイム ・朝の支度後～自由遊び ・8:40～片付け、朝の会、振り返り	なかよしタイム ・朝の支度後～自由遊び ・8:40～片付け、朝の会、振り返り	なかよしタイム ・朝の支度後～自由遊び ・8:40～片付け、朝の会、振り返り
1校時	♡ 音楽 「みんなとなかよしあいうえお」うたっておどって、こえをとどけよう ・園所で親しんでいた歌や歌遊び ・国語ゲーム	♡ 音楽 うたっておどって えんぴつをつかうときに たしかめよう ・園所で親しんでいた歌や歌遊び ・国語ゲーム	♡ 音楽 うたっておどって かいてみよう ・園所で親しんでいた歌や歌遊び ・国語ゲーム
時	😊 生活	😊 生活	☆ 書

「なかよしタイム」では

基本の流れ 朝の準備 → 遊び → 朝の会

園所との連続性 安心

- ・決まった流れ
- ・時間の余裕
- ・園所で親しんだ遊びを導入

園所との発展性

- ・新しい遊びやゲームを導入
- ・教科に関わるゲームや活動
- ・新しい友達と協力する活動

ワクワク

弾力的に 登校後から1時間目の時間を実態に合わせ弾力的に扱う

実態に合わせ、徐々に発展性を持たせていく



幼児期に「自分でできた」経験を生かすために

安心

- 掲示物による 視覚的支援
- ・時刻や1日の流れの見通し
 - ・準備や片付けの方法

- 「できた！」を受け止める支援
- ・肯定的、受容的、共感的に！笑顔で！！
 - ・児童の実態に合わせて、見守り、励ます

安心の土壌→信頼関係の構築へ

中通小学校では

安心とワクワク



教室の後ろと、教室に面した畑で、「なかよしタイム」での遊びを自分で選択できるようにします。

○新1年生のために、1年生がイチゴの栽培、5年生が砂場作りを行っています。

その2 学びに「ワクワク」を育む、弾力的・効果的なカリキュラム・マネジメント



入学後の授業作り

弾力的・効果的に

- ・生活科を中心にカリキュラム・マネジメントを行う
- ・児童の「やってみたい！」を起点にし、探究の芽の育ちをつなぐ

大単元計画の概要を紹介します



大単元名：「がっこうだいすき あいうえお」 実施時期：4～5月 学びに「ワクワク」を

第1次「じぶんでできるよ あいうえお」(4.5H)
・準備、片付けの仕方
・基本的な生活のルール

第2次「みんなとなかよし あいうえお」(12.5H)
・身近な友達との関わり
・クラス、学年の友達との関わり

第3次「いくぞ！がっこうたんけんたい」(18H)
・学校への興味の広がりや探検の計画
・知りたいものや学校を支える人に関する発見
・探検のまとめと表現活動

園所と比べることで、「自分でできそう」という思いをもたせます

児童一人ひとりの「友達とこれをやってみたい」という思いを大切にします。

児童の更なる「やりたい」という思いを大切にします。数や言葉見つけをする、園所との相違点に気付く等、目的をもたせるようにします。

自分の身の回り

クラスや学年の友達

学校にいる人、もの、こと

少しずつ視野や行動範囲、人との関わりを広げていきます。

3 まとめ

本研修を通し、スタートカリキュラムの大幅な改善を行うことができました。研修は3月で一旦終了しますが、小学校教員としての実践は4月からいよいよ始まります。スタートカリキュラムは実践・振り返りを通して生きたものになっていくと思います。児童と4月からのスタートを共に楽しみながら、カリキュラムの更なる改善を図っていきたいと思います。

〈乳幼児教育支援センターより〉

入学に際して子供たちは、期待と同時に不安を抱えています。スタートカリキュラムの実施に当たっては、児童が安心できる環境を整えることが重要です。入学した児童が安心感を持ち、主体的に自己を発揮できるよう、全職員でスタートカリキュラムの意義や考え方、大切にしたいことなどを共通理解し、協力体制を組んで準備を進めましょう。